

平成 29 年 11 月 14 日

保護者 様

松戸市立常盤平中学校
校 長 田 中 弘 道

平成 29 年度 全国学力・学習状況調査の結果について

深秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

さて、このたび平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果及び本校生徒の分析結果をまとめましたので、お知らせします。

今後も学力向上はもとより、本校教育活動の推進に努めて参りますので、保護者の皆様方のご支援の程よろしくお願い致します。

1 全国学力・学習状況調査の概要

本調査は、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善をねらいとし、国語・数学で全国の中学 3 年生を対象として、本年度 4 月 18 日（火）に実施されました。

調査内容は、主に「教科に関する調査」と「生活習慣や学習環境に関する調査」です。「教科に関する調査」では、以下のように A B の 2 種類の問題により実施されました。

- 国語 A、数学 A 主として「知識」に関する問題を中心とした出題
- 国語 B、数学 B 主として「活用」に関する問題を中心とした出題

2 今回の調査から

本校の平均は、国語・数学の 2 教科において、「知識」に関する問題、「活用」に関する問題のいずれも全国平均を上回っています。

[国語]・「話すこと・聞くこと」「書くこと」など基本的な知識は概ね定着しています。

・「多様な語句について調べたり、考える力」をさらに深めていくことが課題です。

[数学]・「数と式」「図形」の基本的な知識は概ね定着しています。

・言葉の意味、定義（例：関数、錯角）が十分に身につけていない傾向があります。

[生活]・友達と協力して何かをやり遂げることで学校生活を楽しいと感じている生徒や困っているときに進んで助けようとしたり、人の役に立つ人間になりたいと考えている生徒が多いことがわかりました。一方で、地域行事や社会問題への関心がやや薄い傾向が見られました。

3 今後の学校での指導に生かしたいこと

確かな学力を身につけさせていくために、学習課題を明示し、個の学びの時間と協働的な学びの時間の工夫を目指した授業改善に努め、またマイマスなど家庭学習を継続させていきます。国語では、生活に根ざした国語力の向上が課題であるため、日常生活に活用できるような確かな言語力の向上に努めていきます。数学では、基礎的な計算力を今後も高めるとともに、導入時の内容を工夫し、用語の意味や定義についても理解を深めていくように指導していきます。

4 その他

- 1) 基本的な生活習慣の確立が学習の土台になります。学校でも指導して参りますが、ご家庭でも「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣を大切にするようにお願いします。
- 2) 日常の会話を増やすことで、自分の考えを正しく相手に伝えたり、さらには論理的な説明や会話に繋がっていくと思われれます。ご家庭での対話も大切にしてください。
- 3) 学力は、国語や数学の2教科だけで測定できるものではありません。特定の一部分だけでなく、学習が身につく過程を重視し、取り組む姿勢や本人の目に見えない努力を評価することが大切です。本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、本校の教育活動の一側面であることをご理解下さるようお願い致します。